

12 回生 織田良正さん



平凡道を非凡に歩め。

地域から日本の医療・介護の発信を。

佐賀に生きる

実家が佐賀県鹿島市で地域医療を担っている病院で、両親ともに医師として働いています。その姿をみて育ったこともあり、小さい頃から病院は身近なものでした。医師を目指すことに抵抗がある時期もありましたが、高校生のときに自分自身が織田病院に入院し、病院で働いているスタッフの方々をみて、地域医療の素晴らしさを実感し、医学部を目指しました。大学進学の際は、弘学館の同級生達が色々な場所の大学へ進学するのを羨ましくも感じましたが、地域医療を行う自分の将来を見据えて、地元の佐賀大学を選択しました。

卒業してあつと言う間に時間が経ちましたが、弘学館で過ごした日々と共に切磋琢磨した仲間は、今も大切な財産です。様々な分野で活躍する仲間の姿に今も沢山の刺激を受けています。

佐賀から全国へ

現在総合内科医として、大学病院で急性期・慢性期・重症度・疾患を問わずに診療にあたっています。また、大学での診療と並行して織田病院では、今後の地域医療のモデルを創るべく様々な取り組みを行っており、TV、新聞など各メディアからも注目して頂いています。少子高齢化が進む日本において、地域での取り組みこそが日本の未来に繋がると信じています。

私は明治維新前後の歴史や小説が好きでよく読みますが、その頃と比べれば、日本全国、ネットでどこでも繋がっている今の時代、都会も地方も大して変わりません。

鹿島市出身の「青年団の父」田澤義鋪先生の「平凡道を非凡に歩め」の精神で、ぶれることなく一歩ずつ確実に前に進んでいきたいと思えます。

1995年 4月 弘学館中学校入学
2001年 3月 弘学館高等学校卒業
2001年 4月 佐賀医科大学医学部入学
2007年 3月 佐賀大学医学部卒業
2009年 4月 佐賀大学心臓血管外科
2014年 4月 祐愛会織田病院循環器科
2017年 4月～佐賀大学総合診療部
主な資格：日本外科学会外科専門医、
日本内科学会認定内科医など

(2018年12月現在)



佐賀大学での講義の様子

織田良正さんのとある一日

- 7:00 出勤・メール確認等
- 8:00 入院カンファレンス
- 9:00 外来
- 13:30 外来カンファレンス
- 15:00 回診・病棟業務
- 17:00 研究・講演ミーティング
- 20:00 論文・資料作成

後輩へのメッセージ

私の好きな言葉に弘学館の先輩がおっしゃっていた「Be the best, you can be!」という言葉があり、意味はそのまま「自分になれる最高のものになれ!」です。人は皆、自分の事はあまり省みず、まず環境のせい、他人のせいにしてしまいがちです。大抵の場合、答えは自分自身、内面にあります。自分自身へ問うことを繰り返すことはつらいときもありますが、反省しつつも前向きに自己研鑽を繰り返せば、いつかきっと道は拓けると今も信じて日々働いています。